

令和 6 年度

日本大学 学生 FD CHAmmiT

学部提案書に基づく回答書

日本大学では、FD 活動に学生の声を反映させながら教育力の向上を目指すべく、平成 25 年度より、16 学部 95 学科、短期大学部 4 学科、通信教育部を対象に学生・教員・職員が一堂に会して学生 FD や本学の教育について理解を深め、気軽な雰囲気の中で語り合う「日本大学 学生 FD CHAmmiT (ちゃみっと)」を開催しております。全学規模のイベントとなっており、例年、各学部等から 200 名以上の参加者を得て開催しております。令和 2 年度及び令和 3 年度においては、コロナ禍の影響により、オンライン (Zoom) 開催とし、令和 4 年度はハイブリッド方式、令和 5 年度は完全対面方式が復活いたしました。

第 12 回目となる令和 6 年度においては、テーマを「魅力・強みの再発見～日大をどう活かす?～」とし、自分が所属する学部、学科の魅力や強みは何なのか、他学部がもっている授業の魅力や強みは何なのか、それらを把握したうえで自分たちが今後の日本大学の教育、主に授業形態をどのように改善・活かしてしていきたいのか意見を出し合いました。それらを踏まえ、最終的に「学部に見る授業」「全学部に関わる項目」を提案書として作成しました。

学生からの提案を受けて、効果的な教育改善の実現に繋がるよう、経済学部において学生との協議の場を設け、学生・教員・職員の三者で協議した上で「学生への回答書」を作成いたしましたので、御覧いただきますようお願いいたします。今後も経済学部では、教育の質や改善について検討を重ね、より良い教育環境づくりに努めていきます。

令和 6 年度 学生FD CHAmmiT 学部提案書に基づく学生への回答書

1 学生との協議の場について

実施日	実施内容
令和6年11月11日	CHAmmiT参加者である学生，教職員及び学生スタッフに加え，教務課員の計4人がオンラインにて，学部提案書に記載の「学部に望む授業」を実現するために協議を行いました。当日欠席された参加者の方々については，後日，確認いただきました。

2 経済学部から学生へのメッセージ

「学部に望む授業」として，様々な御意見をいただき感謝いたします。いただいた御意見については，関係する委員会等で共有いたしました。 これまで，学生の皆様がどのような授業を望んでいるかに関する御意見をいただく機会は多くはなかったので，生の声が聞ける良い機会でした。 いただいたすべての御意見を反映することは難しいですが，可能な限り皆様の希望に沿えるよう検討し，より良い学部にするための改善に努めてまいります。
--

3 学部提案書の対応について
「学部に望む授業」の提案について

項目	対応済	対応中	検討中	対応内容
・映像資料を使った授業をしてほしい。 ・授業内で企業分析を行いたい。 ・ビジネスプランを立てる授業をしてほしい。 ・授業中にクイズをしたり，教員の体験談を話す等の飽きさせない工夫がある授業をしてほしい。			○	授業方法や授業内で使用する資料については各担当教員によって異なるため，すべての授業方法を統一することはできません。ただし，当日の御意見にあったように，語学授業を中心に映像資料を使用する対応ができないかどうか，会議の場で学生の意見を伝えることにより共有をしたいと思います。また映像資料を使用しやすい環境を整えることも検討します。 企業分析を行ったり，ビジネスプランを立てたりする授業はすでに存在していると思いますが，たくさんの授業からそれを探し出すのは難しいのかもしれない。すぐに対応できるかどうかは分かりませんが，授業の内容や実施方法を調べやすい仕組みが導入できるかどうか，検討していきたいと思います。
・意見交換を行いアウトプットをしたい。 ・大きなテーマについてグループワークをしたり，レポート作成をしたい。 ・学生の”今“を考えることのできる工夫がほしい。			○	アクティブ・ラーニングが主流になっている現在，経済学部でも，教員からの一方的な講義ではなく，意見交換等を行ったり，学生が能動的に学修できるよう工夫したりしている授業やゼミナールはたくさんあると思います。 さらに，学生が学びやすい授業方法を教員間で共有し，授業の方法等をシラバスに記載して学生が把握できるようにするなどして，学生が希望する授業を選びやすくなるようにしたいと思います。
・同一科目間で授業難易度を統一してほしい。 ・特に，外国語科目で教員による評価に差があり不公平感が大きいので，改善してほしい。	○			外国語科目のような必修・選択必修科目では，同一科目で担当教員ごとに難易度が異ならないよう，シラバスで共通の「学習目標（到達目標）」と「授業概要（教育目的）」を設定しています。成績評価が不公平にならないよう改めて周知したいと思います。
学修環境の改善 例）少人数授業を行いたい，教室のディスプレイを増やしてほしい，シラバス通りに授業を実施してほしい（特に，成績評価方法を突然変えないでほしい）	○			教員数，教室数及び講義数を考慮すると，すべての授業を少人数で行うことはできませんが，経済学部でも相当数の少人数授業が開講されています。抽選科目のため履修できないこともあるかもしれませんが，前学期は定員オーバーでも後学期は枠が余っているような場合もあります。開講授業数を増やしたり，授業間で調整するなどして，できるかぎり学生の履修希望に応えられるよう努めていきます。 教室のディスプレイについては，順次改善していますが，依然として見にくい教室がありますので，今後もより良い環境を整え速やかに対応していきたいと思います。 シラバス通りの授業の実施（特に成績評価方法）については，学生に不利益がないよう，シラバス依頼時等に改めて周知したいと思います。

※令和 7 年 4 月 1 日現在の対応内容となっており，今後の状況によって変更する可能性があります。